



THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2007年7月 No.302
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2007~2008)	
センテニアルクラブ会長	『明日は明日の風が吹く』
国際会長	『国境なき奉仕』
アジア会長	『国境なき奉仕』
西日本区理事	『確信を持って前進しよう!』
中西部部長	『Y's運動の源流を求めて!』

クラブ役員	Officers
会長	: 三浦 直之
副会長	: 坂本 哲朗
書記	: 石津 雅人
会計	: 藤原 正巳
ネット会長	: 中村 幸枝
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

Biblical Message of July

新しい歌を主に向かって歌え。
 全地よ、主に向かって歌え。
 主に向かって歌い、御名をたたえよ。
 日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。

(詩編 第96編 1-2節)

『明日は明日の風が吹く』

三浦 直之

2007年度の会長を拝命し、責任の重さをひしひしと感
 じています。しかしながら、決まったからには全力で責任
 を全うしたいと思います。

会長標語は「明日は明日の風が吹く」としました。これ
 は決して投げやりな意味ではなく、気分を入れ替えて又
 新たな気持ちで頑張ろうよということです。

7月1日現在、18名でスタートしますが、これをなんとか
 22、3名に増員したいと思います。団塊世代の大量退、ボ
 ランティア活動に参加したいという意識の高まりの中でワ
 イズメンズクラブの存在意義が見直されてくると思いま
 す。

次に今年度の主要な活動として、(8月15日~17日)大
 阪府能勢でのキャンプがあります。今後クラブで継続し
 ていく予定の活動で、皆さん奮って参加してください。

又、DBCの行事として、東京セントラルクラブと1泊旅
 行を来年あたり行いたいと思っています。又、恒例のハ
 イキングも是非やりたいと思っています。ついでといっ
 てはなんです。今年7月20日でセンテニアルはチャ-タ-25周年になります。皆
 さんとともにこの歴史を積み重ねていきましょう。

July Club Meeting 『 Kick-Off EMC-C 』

7月第1例会

日時：2007年7月18日(水) 18:30~20:30
 場所：リーガグランドホテル 3階 葵の間
 司会：大村 肇 君

1. 開会点鐘 坂本 哲朗会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 坂本 哲朗会長
4. 聖句朗読 福永 嘉彦君
5. 今月の強調活動 坂本 哲朗君
6. 晩 餐 一同
7. 会長交代式 司式 卜田 啓三 中西部部長
8. 会長挨拶・方針 三浦 直之 会長
9. 会計報告・会計予算 松浦 孝次 君
10. インフォメーション 各担当
11. お誕生祝い・ニコニコ献金
12. 閉会点鐘 三浦 直之 会長

7月第2例会

日時：2007年7月25日(水) 18:45~20:30
 場所：大阪YMCA土佐堀会館4階

- * 7月お誕生日 坂本メネット 21日
- * 受付担当：1班(大村、新保、田中、畠中、三浦、山田)

【 クラブ統計 Statistics 】

2007年6月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 17名	メ ン	12名	7名	6月: 切手 110g.	6月: 21,500円
例会出席 12名	メネット	6名	0名	現金 0円	(06年7月からの累計):
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	(06年7月~07年6月の	累計: 252,024円
0名	ゲ ス ト	3名	0名	累計)切手 2,300g	オ-ケ-ン累計: 55,500円
出席率 71%	合 計	21名	7名	現金 2,000円	

今月の聖句に寄せて

「新しい歌」という語句は150編の詩編のうちに4回見られるほか、イザヤ書やヨハネの黙示録などにも現れています。何れも捕囚期前後に新しい歌によって歌われる救済の契約のヴィジョンが待望されていると思われます。私たちは新年度を迎えるにあたり、この詩編のような躍動感溢れる希望の新しい年を念願したいと思います。

聖句選・コメント：福永 嘉彦

6月第1例会

とき：07年6月20日(水) 18:30~20:40

ところ：リーガランドホテル3階 葵の間

一年間の締めくくりとなる例会の冒頭、坂本会長が、危機的財政状況を切り抜けた藤原正巳・会計の功績、ブリテンの電子化、ハワイ・ヌアヌクラブとのIBC交流など、今期の活動評価を述べました。

本日のスピーカーは、この例会を最後に横浜に帰ることになった永島寧さんが、「三浦按針」(英国・ウィリアム・アダムス/1564~1620年)について話をしてくれました。

当時造船業に携わっていた永島さんは20年前、英国に4年余駐在していたことから、江戸時代の初期日欧交流の架け橋となった三浦按針に興味をもったそうです。「按針」とはポルトガル語で「水先案内人」の意。誠実かつ冷静な人柄で、世界の情勢にも精通していた按針は徳川家康にかわいがられ、造船など日本に伝えたものは大きかったと言われていいます。にもかかわらず、英国に残した妻子とも会えず、また日本でもうけた一男一女も国外追放の憂き目にあうなど、彼の不遇な人生はなんとやるせない気持ちにさせます。永島さんの話は、当時の造船技術までおよび、氏の探究心の深さを物語るものでした。

ハワイ交流の参加者が報告。「ヌアヌクラブが送迎、準備など非常によくしてくれた」(谷川メン)、「手作りのアットホームな大会だった」(坂本メネット)。「実は私たち結婚25周年記念の年だった」(中村メネット)などの感想をいただきました。

表彰、お楽しみ会では、大村、中村茂の両メンが用意したプレゼントが、コメントをつけて各メンバーに配られました。

(中村茂高)

6月第2例会

6月27日(水) 18:45~20:30 大阪YMCA
出席：石津、鍛治田、大村、坂本、中村、松浦、三浦君

1. 7月の例会プログラム

第1面の通り。ト田中西部長立会いの下での会長交代式、三浦会長の方針説明が主題。06年度決算、07年度予算の審議も行う。

2. 8月の例会

8月22日(水)第1例会は、納涼例会(リーガランドホテルで)とし、楽しい寛いだ例会にしたい。罰金ゲームやサイコロゲーム(あなたの初恋はいつ?)など、面白い出し物をいろいろと工夫する。乾杯もあり。7月25日(水)の第2例会で、8月納涼例会のプログラムをつめる。8月第2例会は29日(水)。

3. 06年度決算案、07年度予算案の検討

藤原正巳会計が作成した両案を検討し、承認。藤原メンの努力で、赤字基調であったクラブ会計が黒字に転換したのは、大変喜ぶべきこと。なお、予算・支出の「地域奉仕活動」は「中高年向けの野外活動支援」に重点をおく。両案は7月第1例会で審議する。

4. 8月の「クラブ・ファミリーキャンプ」

(15日~17日青少年野外活動センター)
メンバーのみなさん、参加してください! なお、参加したくなるプログラムと広報(チラシ、中西部へも)を工夫する。「中高年むけの野外活動支援」の第1年目として、今後の方向と展開を考える機会とする。

5. その他の行事

9月29日(土) <土佐堀YMCA>

メネットアワー(12:30~13:30)

中西部部会(14:00~17:30)

10月27日(土) <土佐堀YMCA>

YYフォーラム・EMC

11月3日(土) <土佐堀YMCA>

土佐堀カーニバル

11月23日(祝・金) <万博記念公園>

チャリティラン()

08年1月14日(祝・月) <南YMCA>

中西部合同新年会(13:00~)

08年6月14~15日 <奈良100年会館>

西日本区大会

(松浦孝次)



この卓話を最後に、横浜に戻られる永島さん、お疲れさまでした

今年も7月18日、大阪Y M C A「安全の日」がやってきました。誰もが自分自身と他者の「安全」を考えた視点で、今一度まわりを見てみたいと思います。Y M C Aを通した夏のさまざまな体験が子ども達の原体験となることを祈ります。

早天祈祷会

日時 7月20日(金)7時30分～8時30分
証し 岩間みどり氏(大阪ヴェクセルクラブ)
場所 大阪Y M C A会館

ホームステイ先募集中!

一般対象日本語夏期集中コース または 台湾 彰化
Y M C A日本・日本文化研修グループ

* 毎年多くの国から幅広い年齢層の人たちが日本語学習に来阪します。

日程: 2007年7月16日(月・祝日)～8月5日(日)朝までの20泊

* 学生によって、ビザや航空便の都合で若干日程が前後する可能性もあります。

韓国 スウォン外国語高校日本語学科 日本研修

日本語を勉強している高校1年生たちが、日本での交流や文化体験を楽しみにしています

日程: 2007年7月15日(日)～8月5日(日)朝までの21泊

問い合わせ先 共に 大阪Y M C A学院日本語学科
(上町校) 06-6779-8364

中学生バスケットボール親善交流

日程: 2007年7月31日(火)夕刻～8月3日(金)午前

参加者: サンフランシスコ在住日系アメリカ人中学生
問い合わせ 大阪Y M C A統括本部 国際・社会奉仕室
06-6441-0894 (鍛治田 千文)

6月BFニュース

切手提供者:

山田、谷川、松浦、田中、
福永、三浦君(計110g)

今月の殊勲賞: 山田孝彦君
(70g)



WEBサーバーの容量不足のため当クラブのホームページのURLを変更しました。それに伴いデザインも変更しています。

<http://m-ishizu.sakura.ne.jp/ys/>

私たちが5月に訪問したハワイは、6月に日系人を中心に大きな記念行事がありました。日本の真珠湾攻撃と前後して、日系アメリカ人の多くの若者が志願し、第100部隊が構成されました。参加して無事帰還した退役軍人が、今や80歳代後半となり、毎年その数が減少しており、今年は部隊の65回目の記念行事で賑わいました。先月の私たちのための歡送会に参加してくれた Ann Kabayama さんは、お父さんが退役軍人で、この部隊の世話をされています。

現地の新聞、Honolulu Advertiser Com.が、生き証人の退役軍人の当時の体験を伝えています。部隊はアメリカ本土での訓練を経て、主にイタリア、アフリカ戦線に投入されました。志願してアメリカに忠誠を誓いながら、白人の上官は彼らを敵国の若者とみなし、当初懐疑的であった話、ハワイで生まれ育ち、はじめて本土の大きさに驚いた話、二度とハワイの土を踏むことはないであろうと戦線に向った話、戦線では中国兵と思われた話、などなど。432名で構成の部隊から338名の戦死者をだし、米本土からの日系人の第442部隊と共に、主としてヨーロッパ戦線で勇敢に戦い、勲章の数が他のどの部隊より格段に多かった、と報じています。この部隊の経験者から、アリヨシ・ホルル市長、ダニエル・イノウエ上院議員が誕生しています。さらに興味のおありの方は、

<http://the.honoluluadvertiser.com> をどうぞ。

(谷川 寛)

Club Activities (June, 2007)

A total of 21 men and women including 3 guests gathered for the June meeting, last one for this term.

Club president Tetsuro Sakamoto at his opening remark thanked everyone for the kind support extended to him for his one year, referring to many remarkable progress made during the period - such as improved financial position of the club account thanks to Sam Fujiwara's effort, the cost cut of club bulletin's expenses, successful trip to Hawaii, etc. The speaker for this month was our club member, Yasushi Nagashima, who spoke about his study on William Adams, a shipwrecked British sailor, who finally became a Samurai in the Edo period. Fascinating story! Sad news about the speaker was that he had to leave our club this month to join his family back in Yokohama. Everyone gave him big hand, wishing him best of luck. Some of our visitors to Hawaii spoke about warm hospitality they received from our brothers and sisters in Hawaii, which was they said outstanding and unforgettable experiences. Gifts from our Brother club was distributed among us. The highlight of the meeting was that awards were to given to each and everyone for his and her dedicated service to the club and local YMCAs for one year. Those awards were sourced from a local 100yen shop by our two members, Omura-san and Nakamura-san. They made a lot of preparations for the commendation ceremony. Japanese style meals were served for the first time at our meeting. The meals were very popular among us.



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

今期、IBC, DBCをはじめ活発な活動を展開され中西部でも西日本区大会へのご協力ありがとうございました。個人的には石津メンに大変お世話になり感謝です。

(大阪土佐堀クラブ 工藤 義正)

久し振りに訪問させて頂きました。礼儀正しく格調の高い例会をされていると感じ入りました。今後も又訪問させて頂きたいと思います。

(大阪クラブ 小西 研一)

H.H.C amp成功するよう御支援お願い申し上げます。

(大阪クラブ 脇本 博)

会員からのメッセージ

永島さんの三浦按針の話とても興味深く聞かせて頂きました。坂本会長一年間お疲れ様でした。西日本区大会も盛会のうちに無事に終えて一安心です。

(石津 雅人)

ワイズに向かう道中母から電話を受けました。骨粗しょう症で腰の骨が3本折れていたと、すぐに駆けつけられない自分が悲しいです。

(鍛冶田 千文)

一年間メネット会長として過ごさせて頂きありがとうございました。

(坂本 千春)

STEPのプログラムでドイツの学生パトリック君が6/14~6/17までホームステイしました。

(坂本 哲朗)

永島メンが研究された「三浦按針」のお話、非常に興味深く伺いました。昔好きだった歴史書を又読んでみようと思います。ありがとうございました。

(隅田 恵子)

本年度の最終例会に出席できて感謝です。

(田中 穰二)

坂本会長一年間のお働きご苦労さまでした。藤原会計のおかげで財政も改善し良い方向に向かっているのはすばらしいことでした。永島さんの三浦按針の話も大変興味をひきました。和食も良かったです。

(谷川 寛)

今年度も会長はじめ役員の皆様の熱心なご奉仕により借金財政という困難も乗り越えて終期を迎えられた事に深く感謝します。大切な会員永島さんとのお別れは残念です。ご自身のライフワークとしての「三浦按針」の研究の一面をみやげ話として頂きました。なかなか興味深い宅話をありがとうございました。

(谷川 有美子)

一身上の都合で折角仲間として受け入れて戴いた大阪センターアルクラブを退会せざるをえなくなりましたことをお許し下さい。クラブの発展、クラブメンバーの皆様の御清祥をお祈りして感謝のご挨拶と致します。

(永島 寧)

永島さんの集大成三浦按針、これからもご活躍下さいますように。

(中村 幸枝)

念願のハワイアンワールドをメーさんより中村メネットを通じて頂き多謝!! ハワイのお土産として報告と懐かしい味を頂き感謝でございます。永島メンの貴重な研究の成果を初めて伺い感謝しています。和食もまた趣が変わっていいですね。

(福永 嘉彦)

ハワイ旅行は温かいもてなしを受け楽しい旅でした。又アヌクラブとの交流は初めてでとても感激しました。素晴らしい関係が永く続きますように。

(松浦 和子)

永島さん長い間ありがとうございました。お幸せをお祈りします。三浦按針のお話はなかなか興味深く拝聴しました。坂本会長1年間ご苦労様でした。新しい試みをいろいろやって下さってよかったですよ。

(松浦 孝次)

永島様、名残惜しいですが最後に三浦按針のお話を聞かせて頂き良かったです。今後の御健康をお祈り致します。坂本会長1年間ご苦労様でした。夏の妙高、冬の酒蔵探索等楽しかったです。

(三浦 直之)

年度の締めくくりに永らくメンバーとして地味ながらもきちんと筋のとったお働きをされた永島君の研究成果“三浦按針”のお話を聞くことが出来ました。お別れするのは残念ですが、これからも何処かで又お会い出来るのを期待しております。

(山田 孝彦)

坂本会長一年間ごくろうさまでした。6月9日西日本区大会にひさしぶりに出席しました。有意義なひとときでした。感謝です。

(山村 利子)



第10回西日本区大会 盛会裡に終わる

6月9日(土)~10日(日)大阪OBPで

松浦 孝次

18年ぶりの大阪市内での開催です。西クラブがホストクラブ、中西部10クラブが協力。総勢約1,700人が参加して、盛大に開催されました。

わがクラブは、ノンドロップ賞、BF目標達成賞、CS-TOF-FF目標達成賞、さらに 理事感謝賞(中西部10クラブ)を獲得しました。

出席者は、坂本会長を筆頭に、石津、中村茂、福永、藤原、松浦、山田、三浦メン。坂本、隅田、松浦、山村メネット。計12人でした。とくに石津さんは、映像担当として、徹夜も含めて大変な奉仕をされました。他の何人かは、初日の「道案内」を担当しました。

私の主観で恐縮ですが、今大会で印象に残ったことを挙げます。

1. 「ワイズユースクラブ姫路 Y3」のメンバー26人が紹介されました。若い人たちがワイズにつながることは、大きな意義があります。組織づくりをよくやったなあ!と感嘆します。
2. 五月女光弘氏(元外務省参与)の基調講演「国際協力 恩義に報いるODA」に感銘を受けました。第二次大戦後、日本は戦勝国から無償の援助(ララ物資、ユニセフなど)を受けて立ち直ったこと、“Give me chocolate”と叫んでいた私などは身につまされる話。いま過剰なほどに食糧、衣料、その他経済的に恵まれている日本が途上国に何をすべきか、恩義に報いるときではないのか、というスピーチでした。個人として、組織として、考え、行動せねばなりません。
3. 10日聖日礼拝の、高橋詠子牧師(日本キリスト教団)の説教は、じつに明解でわかりやすい、パンチあるメッセージでした。創世記18章1~8節から、「主はアブラハムに現れた」。旅人に姿を変えて。神は思いもかけない姿で、私たちのそばにたたれる、神によってみんなが繋がっていることを驚き、喜びましょう!と。
4. 9日の懇親会は、ホテル・ニューオータニ宴会場で、約700人が一堂に会してのパーティ。圧巻でした。

《 編集後記 》

西日本区大会は盛会の内に終了しましたが、中西部の報告の最後、工藤部長が話した「ハチドリの話」はとても興味のある話でした。内容は、山火事が起こったとき、他の動物は避難したにもかかわらず、小さな鳥ハチドリだけはその小さなクチバシで湖の水をすくっては燃え盛る炎にかけ続けていたのです。他の動物が「ハチドリさん、あんたのクチバシでは到底この火は消せないよ」とあざ笑うなか、ハチドリは「私にできることをしているのです」と言ったという話ですが、とても意味深い言葉でした。私たちクラブの取った四つの賞はまさにこれにあたるものではないでしょうか。

中村茂高